



八代小学校学校だより
平成28年5月号



八代小の子ども
やさしい心をもつ子ども
強い心をもつ子ども
思慮深い子ども
労を惜しまぬ子ども

平成28年熊本地震のため4月27日の学校再開から約1か月。学校の教育活動も日常にもどつつあります。地震により被災された地域の皆様には、心からお見舞い申し上げます。

さて、地域の皆様の温かいご支援や見守り、熱心なPTAに支えられながら、本校の教育活動を展開できることに感謝しております。

本年度もご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年度 316名の児童とともに

平成28年度は、新入生42名を含む、316名の児童でスタートしました。先日、PTA総会において、職員の紹介を行ったところです。

【本年度の職員の転入者】

- 校長 洲上一博
- 教諭 早瀬由理子、樋口勇輝
- 支援員 深浦莊一、東幸代、岩崎布見子



入学式(42名の新入生)

地域とともに

5月22日(日)、「八代校区を歩こう会」に、本校1年生児童及び保護者がPTA活動として参加しました。

5月の風薫る中、八代校区の地域の皆様に見守られながら、3.6kmのウォーキングを楽しみました。



八代小の歴史 (開校魂)とともに



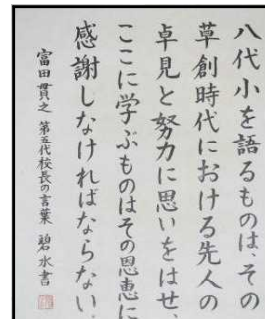
本校正門すぐ、「開校魂」と書かれた創立50周年記念碑があります。

本校は校舎のみ建設された開校当時、当時の子どもたち全員が時間を生み出し、労を惜むことなく働き、校庭の整備に全力を尽くしたと聞きます。当時の子どもたち、先生方、地域の皆様の苦労に思いを寄せると、そのことがいかに大変であったかは容易に想像がつかます。

すべては次の世代に引き継ぐため。

本校の玄関に入ってすぐ、大きな1枚の絵と、5代校長の言葉が飾られています。

「八代小を語るものは、その草創時代における先人の卓見と努力に思いをはせ、ここに学ぶものはその恩恵に感謝しなければならない。」たいへん重い言葉です。



私たちはその思いをしっかりと受け継ぎ、子どもたちの6年後、9年後の姿を思い描きながら教育に当たっていかなければならないと心新たにしたところです。